

トルコ 通貨が史上最安値を更新、7月24日の会合で中銀の信任が問われる

■ 選挙後の閣僚人事、中銀人事制度に失望

6月24日の大統領選・総選挙でエルドアン氏（AKP）が勝利しました（図2）。高インフレ時であっても利下げを主張する同氏の経済運営を不安視する声もありましたが、むしろ政権交代による不透明感が嫌気されていたため、選挙後にトルコ・リラは上昇していました。

引き続き経済運営への不安が残るなかで、7月9日に新政権により発表された閣僚人事や中銀人事制度は、強権的な大統領の姿勢を改めて示すものとみなされ、期待を裏切る結果となりました。同日、トルコ・リラは対ドルで2.67%（対円で3.01%）と大幅下落しています。

■ 重要ポストの財務相に大統領の娘婿を指名

今選挙から、トルコの政治体制は議院内閣制から大統領制に移行し、首相・副首相の職が廃止となります。これにより新たな財務相は、経済政策担当副首相が元々務めていた国庫庁長官の役割も担うこととなりました。

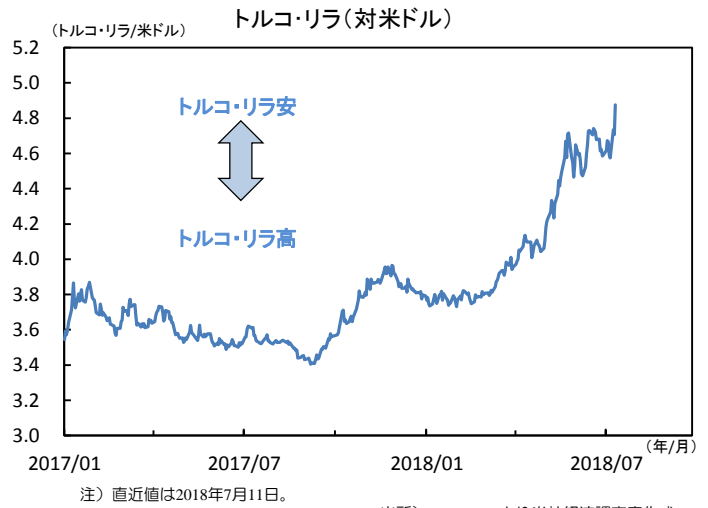
この重要ポストに指名されたのは、大統領の娘婿に当たるアルバイラク氏です。同氏は、エネルギー天然資源相の経験はあるものの、経済閣僚としての実力は未知数です。経済運営に不安がある大統領を、牽制する役割も求められる同ポストに身内を指名したことが市場の不安感を高めました。また他の閣僚メンバーにも、市場の信任が厚いシムシェキ前副首相やババジャン元副首相は入閣しておらず、引き続き経済運営に不安感が残ります。

■ 中銀の独立性に不透明感が高まる

中銀人事制度では、総裁の任命権と任期に関する条文がトルコ中央銀行法から削除されました。7月9日の同大統領令により、中銀総裁の任免が恣意的に行われるとの懸念が高まり、通貨は下落しています。翌10日に発表された新たな大統領令では、大統領が中銀総裁の任命権を持ち（従来は内閣）、任期は4年（同5年）と具体化はされたものの、従来より中銀の独立性が低下しているとの印象は払拭できず、市場の反応は限定的となりました。

4月以降は大幅利上げ（図3）に動くなど通貨防衛が行われていますが、7月24日の金融政策決定会合では利下げの可能性に注意が必要です。エルドアン大統領は7月11日に金利および米ドルの下落に必要な行動を起こすと発言し、トルコ・リラは史上最安値を更新しています。今後とも予断を許さない状況が続く見込みです。（永峯）

【図1】 トルコ・リラは史上最安値を更新中



【図2】 連立与党は議席数は減らすも過半数を維持

トルコ 総選挙の結果

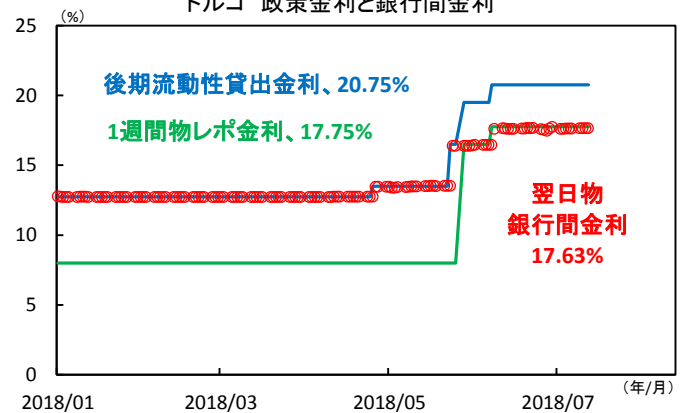
		議席数			
		選挙前		選挙後	
連立与党	公正発展党 (AKP)	351	316	344	295
	民族主義者行動党 (MHP)		35		49
野党	共和人民党 (CHP)	131	146		
	国民民主主義 (HDP)	48	67		
	優良党 (İYİ)	6	43		
	その他	14	0		
合計		550 (275)	600 (300)		

注）合計のカッコ内は総議席数の半数。

出所）各種報道より当社経済調査室作成

【図3】 通貨防衛の利上げが行われるが政府から利下げ圧力が強まる可能性も

トルコ 政策金利と銀行間金利



本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会